

■ 支部だより ■	
-----------	--

## 北海道・東北支部のうごき

平成19年度から平成20年度における北海道・東北支部の組織は次のとおりとなります。( )書きは全国環境研協議会全国組織の役職です。

- 支 部 長(支部長理事)  
福島県環境センター所長
- 副 支 部 長(常任理事, 精度管理部会長)  
山形県環境科学研究センター所長
- 副 支 部 長(理事, 精度管理部会委員)  
新潟県保健環境科学研究所長
- 酸性雨調査研究専門部会長  
新潟県保健環境科学研究所長

支部の動きについては、本誌第31巻第3号の支部だよりで、平成18年5月に開催した全国環境研協議会北海道・東北支部総会までの活動状況を報告したところですが、その後の支部の動きを報告します。

### 1. 環境測定分析統一精度管理ブロック会議

福島県環境センターが開催県となり、上記会議が開催されました。会員等16機関、26名の出席があり、調査結果の報告、特別講演、ディスカッションが行われました。会議の概要は次のとおりです。

- ・期 日：平成18年8月9日(水)
- ・場 所：仙台市 パレス宮城野
- (1) 報 告
  - ① 環境測定分析統一精度管理調査について(環境省)
  - ② 平成17年度環境測定分析統一精度管理調査結果について(日本環境衛生センター)
- (2) 特別講演  
「環境測定分析における土壌・底質中の重金属類測定について」  
東京大学大学院新領域創成科学研究科  
助教授 吉水 淳
- (3) ディスカッション
  - ① 統一精度管理調査
  - ② 環境測定の精度管理

### 2. 第32回北海道・東北支部環境研研究連絡会議

青森県環境保健センターが開催県となり、上記連絡会議が開催されました。全会員13機関、36名の出席があり、各テーマについて討論が行われました。連絡会議の概要は次のとおりです。

- ・期 日：平成18年10月5日(木)～6日(金)
- ・場 所：青森市 ラ・プラス青い森
- (1) 共通課題討論会
  - 第一分科会：大気常時監視について、有害大気汚染物質モニタリングについて
  - 第二分科会：生態系を利用した水環境の修復について、土壌・地下水汚染関係について
  - 第三分科会：ダイオキシン類の分析について
- (2) 共通課題討論会の報告等検討会
- (3) 一般研究発表会
  - 第一分科会：大気関係
  - 第二分科会：水質関係

### 3. 酸性雨調査研究専門部会

山形県環境科学研究センターが開催県となり、上記専門部会が開催されました。全会員13機関、21名の出席があり、部会活動等について議論が行われました。

- ・期 日：平成19年2月27日(火)
- ・場 所：仙台市 ホテル白萩
- 議 事
  - ① 全国環境研協議会酸性雨調査研究部会の活動について
  - ② 平成17年度北海道・東北におけるガス状酸性化成分等濃度分布調査結果について
  - ③ 平成19年度部会活動について
    - ・平成19年度部会活動(案)
    - ・北海道・東北におけるガス状酸性化成分等濃度分布調査に係る報告書作成の作業分担等について
  - ④ 平成20年度以降の部会活動について
    - ・全環研第4次継続調査の課題
    - ・「酸性雨の全国的状況」
    - ・今後の北海道・東北支部酸性雨調査研究専門部会の活動についてのアンケート結果
  - ⑤ 情報提供  
「酸性雨自動測定に基づく事例解析」

## 中国・四国支部のうごき

### 1. 平成18年度における中国四国支部の活動状況

#### (1) 会議の開催状況

- ① 平成18年5月18日、19日、松江市において支部総会、所長会、各部会(庶務部会、微生物部会、理化学部会、水質部会、廃棄物部会、大気部会)を開催した。

(担当機関：島根県保健環境科学研究所、地方衛生研究所全国協議会中国四国支部会議と合同開催)

- ② 平成18年9月6日、高松市において環境測定分析統一精度管理中国・四国支部ブロック会議を開催した。

(担当機関：香川県環境保健研究センター)

#### (2) 支部長表彰

平成18年5月18日の支部会議において、岡山県環境保健センター・宮崎 清氏、広島県保健環境センター・岡本 拓氏、山口県環境保健研究センター・弘中 博史氏、徳島県保健環境センター・犬伏 宏行氏、愛媛県立衛生環境研究所・高松 公子氏、広島市衛生研究所・山本 修氏の6名を表彰。